

大島商船高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	実験実習
科目基礎情報				
科目番号	0093	科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実験	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電子機械工学科	対象学年	4	
開設期	通年	週時間数	2	
教科書/教材				
担当教員	古瀬 宗雄,浅川 貴史,増山 新二,岡野内 悟,笹岡 秀紀,中村 翼,平田 拓也,増井 詠一郎			
到達目標				
実験実習を通して機械・電気・情報工学の基礎を学ぶ。材料力学、C A D基礎、ロボット、電気電子回路、システム制御、熱流体及びプログラム言語を実験実習を通して学ぶ。 具体的な学習目標は以下の通りである。 (1) 実験実習を通して機械・電気・情報工学の基礎を習得できる (2) 実験レポートの作成方法を理解し、実施できる				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
到達目標 1	実験実習を通して機械・電気・情報工学の基礎を習得できるとともに、詳細に説明できる	実験実習を通して機械・電気・情報工学の基礎を習得できる	実験実習を通して機械・電気・情報工学の基礎を習得できない	
到達目標 2	実験レポートの作成方法を理解し実施できるとともに、詳細に説明できる	実験レポートの作成方法を理解し、実施できる	実験レポートの作成方法を理解するが、実施できない	
学科の到達目標項目との関係				
JABEE J(06) 本校 (1)-c 電子機械 (3)-b				
教育方法等				
概要	実験実習を通して機械・電気・情報工学の基礎を学ぶ。			
授業の進め方・方法	各班ごとに別れて、工作実習、実験実習を学ぶ。評価方法も実施内容により以下ようになる。 工作実習は実技（70%）＋出席状況・実習態度（30%）、実験実習はレポート内容・提出期限（80%）＋出席状況・実習態度（20%）とする。			
注意点				
授業計画				
		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	導入教育	
		2週	電子顕微鏡操作	
		3週	レーザー加工機	
		4週	CAD/CAM/CAE	
		5週	ひずみ計測	
		6週	熱交換器	
		7週	管内速度測定	
		8週	圧力損失	
	2ndQ	9週	圧力損失	
		10週	SQL	
		11週	SQL	
		12週	PIC	
		13週	レポート作成	
		14週	レポート作成	
		15週	レポート作成	
		16週		
後期	3rdQ	1週	電気・電子実験Ⅰ	
		2週	電気・電子実験Ⅰ	
		3週	電気・電子実験Ⅰ	
		4週	電気・電子実験Ⅱ	
		5週	電気・電子実験Ⅱ	
		6週	マイコン	
		7週	マイコン	
		8週	マイコン	
	4thQ	9週	情報処理	
		10週	情報処理	
		11週	情報処理	
		12週	画像処理プログラミング	
		13週	画像処理プログラミング	
		14週	画像処理プログラミング	
		15週	レポート作成	
		16週		
評価割合				

	レポート	課題・実技	取組姿勢	出席			合計
総合評価割合	80	70	30	20	0	0	200
基礎的能力	0	70	30	0	0	0	100
専門的能力	80	0	0	20	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0